



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 2 主要地方道二戸五日市線「浄法寺バイパス」全線開通
- 4 一般県道吉里吉里釜石線 室浜トンネルが貫通！
- 6 主要地方道北上東和線『平成大橋』開通式
- 8 住宅相談会を開催しています！
- 10 奥州市道谷子沢南前川山線が開通しました！
- 12 復興の現場見学会 in 高田松原
- 13 平成27年度インターンシップ実習について
- 15 いわて花巻空港 FDA名古屋線 利用者40万人到達！！
- 16 宮古市道北部環状線の現場見学会を開催！
- 18 「スカイフェスタ2015」報告

2015年

9月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第134号
平成27年9月30日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

祝 浄法寺バイパス開通

～ 二戸市内と八幡平市さらには秋田県北とのアクセス向上 ～

平成27年9月19日(土)、前日からの雨も上がり涼やかな秋空の下、「主要地方道二戸五日市線浄法寺バイパス開通式」が行なわれました。

浄法寺バイパスは、平成8年度に事業着手し、20年の歳月をかけて整備が進められ、今回、3.6km全線を開通することができました。

また、浄法寺バイパス中間部に接続する二戸市道役場線「浄法寺大橋」(市町村道代行事業として県が実施)も同日併せて開通しました。



浄法寺バイパス開通式におけるテープカット・くす玉開披

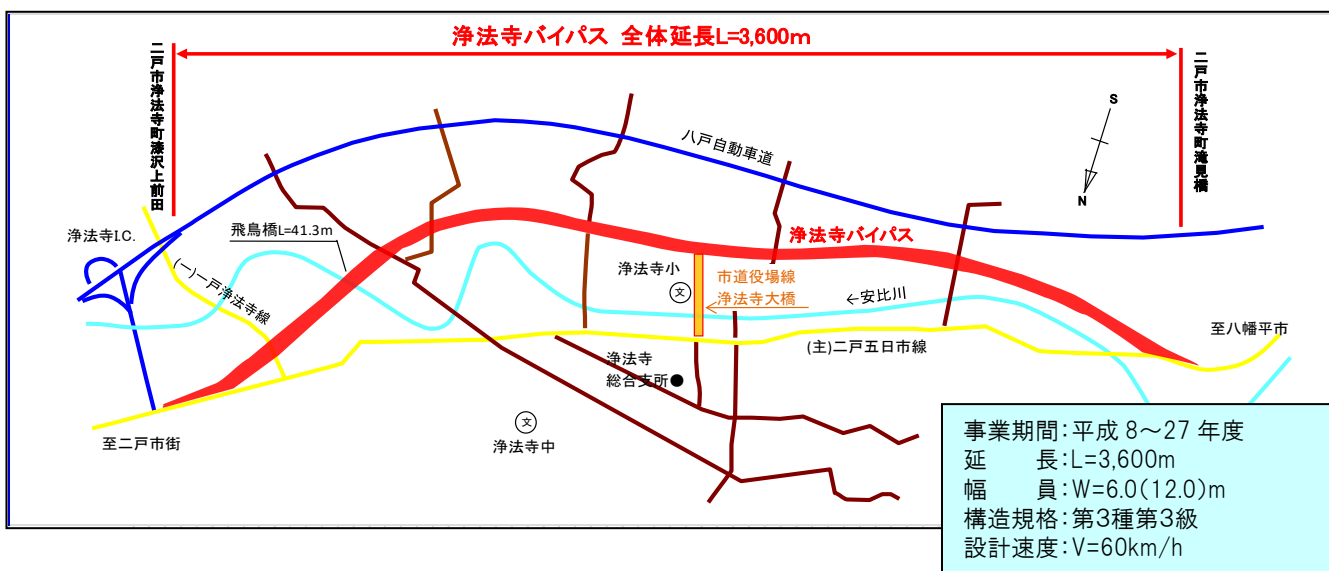
主要地方道二戸五日市線「浄法寺バイパス」全線開通

二戸土木センター
道路建設課

主要地方道二戸五日市線は、二戸市と八幡平市を結ぶ幹線道路であるとともに、新幹線二戸駅と岩手県内陸地域さらには秋田県北地域とを結ぶアクセス道路となっています。

しかし、浄法寺市街地においては、道路幅員が狭く、見通しの悪いカーブが多く、また歩道がないため、広域的な幹線道路としての利用のほか、地域の生活道路としても利用されている中で、車両や歩行者の安全が確保できていない状況でした。

浄法寺バイパスの全線開通により、広域的な交流・物流の促進と浄法寺市街地を通過する交通がバイパスに移り市街地の道路環境の向上が期待できます。



【開通式】

主要地方道二戸五日市線「浄法寺バイパス」と二戸市道役場線「浄法寺大橋」の両道路合同の開通式では、県北広域振興局長と二戸市長の式辞、県議会副議長等の来賓の方々の祝辞をいただき、「浄法寺大橋」ではテープカットと渡り初めを、「浄法寺バイパス」ではテープカット、くす玉開披とパレードを実施しました。

当日は、浄法寺まつり初日でもあり、渡り初めには地元郷土芸能や山車も参加し、沿道にはたくさんの地元の方々がかけつけてくださり、たいへん賑やかな開通式となりました。





沿道にはたくさんの地元の方々！



「浄法寺大橋」テープカット



浄法寺まつり山車の参加も

「浄法寺大橋」渡り初め



浄法寺まつり「七ツ物」披露



「浄法寺バイパス」テープカット及びくす玉開披



「浄法寺バイパス」パレード



二輪車愛好家団体の参加も

【二戸市協力によるイベント】

二戸市協力のもと、開通前の浄法寺バイパスで各種イベントを開催しました。

9/5 浄法寺バイパス開通記念
二戸市民マラソン



9/16AM 浄法寺中学校
校内ロードレース大会



9/16PM 浄法寺小学校
記念学習会



一般県道吉里吉里釜石線 室浜トンネルが貫通！

沿岸広域振興局土木部
道路建設課

県が「まちづくり連携道路」として、一般県道吉里吉里釜石線室浜の2地区で整備を進めている室浜トンネル（L=195m）については、平成27年6月8日に安全祈願祭を行い、本格的に工事を進めておりましたが、関係各位のご協力をいただき工事が順調に進み、9月16日に県、釜石市、地元代表（地権者、町内会）、工事関係者等約70名が出席し、貫通式が開催されました。

沿岸広域振興局 佐々木局長、加藤技術参事兼土木部長、野田釜石市長、佐々木釜石市議会議長が貫通発破を執り行い、室浜トンネルの無事貫通を記念して、関係者一同で万歳三唱が行われました。

通り初めでは、関係者がお互いに握手を交わし、樽神輿の入場、鏡開きが行われ、出席者全員で貫通を喜び合いました。

発注者を代表して佐々木局長からは、「一般県道吉里吉里釜石線 室浜・片岸間の早期開通に向け、一丸となって全力で取り組みたい」との挨拶がありました。



貫通発破



通り初め



樽神輿入場



関係者一同

【現場見学会の様子】

7月26日、工事の進捗状況や「地元の復興」を実感していただくため、地元の方々を対象に現場見学会を開催したところ、27名の参加がありました。

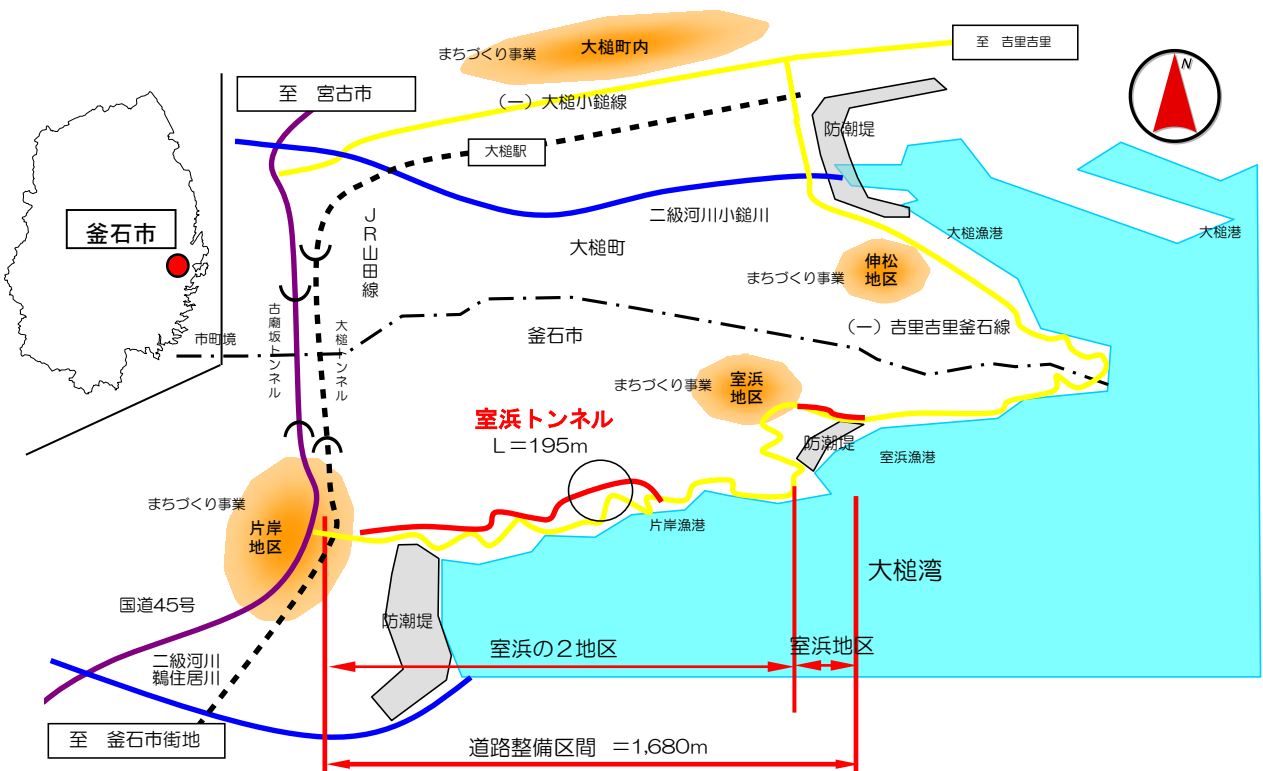


【一般県道吉里吉里釜石線 室浜、室浜の2地区の事業概要】

県道吉里吉里釜石線は、室浜地区（室浜漁港）から国道45号片岸地区へのアクセス道路であり、水産業の復興を支援する道路であるとともに、津波等の災害時は避難路にもなっています。

東日本大震災津波により、室浜地区の集落は壊滅的な被害を受け、避難路となる県道も浸水したため、室浜地区は長時間にわたり孤立化しました。

このため、県では周辺の片岸地区の防潮堤や区画整理事業等のまちづくりと一体となり、平成29年度の全線供用開始を目指して災害に強い道路整備を行い、当地域の安全で安心な防災都市・地域づくりを推進していきます。



主要地方道北上東和線『平成大橋』 開通式

～住民要望開始から四半世紀、地域住民待望の橋梁が完成～

花巻土木センター
道路建設課

平成 27 年 9 月 13 日（日）、主要地方道北上東和線北上市村崎野～更木の平成大橋を含む 1,600m 区間が開通し、開通式が盛大に行なわれました。本工区の道路整備は、平成 12 年度に事業着手しましたが、平成大橋については、6年の歳月をかけて供用することができました。

【平成大橋の位置】



【平成大橋の概要】

- ①橋 長 516.5m
- ②幅 員 12.0m (路肩 1.5+車道 3.25×2 車線+路肩 1.5+歩道 2.5)
- ③上部工型式 ポストテンション方式 8 径間連続波形ウエブ箱桁橋
- ④事業効果
 - ・大型車両の通行が可能 (これまで利用してきた橋梁は 16 t 重量制限)
 - ・歩道設置による歩行者の安全確保 (これまで利用してきた橋梁は歩道なし)
 - ・北上工業団地から沿岸地区への物流の強化
 - ・県立中部病院へのアクセス向上による救急医療の確保



平成大橋橋面



平成大橋側面



【開通式】

開通式には、地域住民や関係者など約 400 人が集い、達増知事からの『平成大橋の開通は、沿岸地区にも波及し、復興が更に進む』という挨拶の後、北上市長の祝辞、神事が行われ、テープカット、くす玉開被、三代夫婦渡り初めと続きました。地域住民からは、『平成元年の陳情開始以来、長年の夢がかなった』『北上川東部の活性化につながる』という声があり、地域全体が喜びにわきました。開通式終了後には、祝賀会を行い、地域の方々と共に開通を祝うことができました。

達増知事挨拶



テープカット



くす玉開被



三代夫婦渡り初め



【今後の予定】

今回の平成大橋を含む約 1,600m の開通区間より東側の約 600m について整備を進めていきます。

住宅再建相談会を開催しています！

～ 住宅の自力再建を支援します！ ～

建築住宅課

東日本大震災津波で被災された方々に、自立再建のための各種支援制度等の情報提供及び相談を行うため、県では平成24年度から住宅再建相談会を開催しています。

相談会の内容

相談会は、行政及び（独）住宅金融支援機構から公的支援制度、住宅融資等について参加者の方に説明をした後に、説明者の他、岩手県地域型復興住宅推進協議会及び（一財）岩手県建築住宅センターが依頼した建築士等が住宅の再建に関する個別の相談に対応しています。

【相談対応機関】

岩手県、開催市町村、（独）住宅金融支援機構、岩手県地域型復興住宅推進協議会、（一財）岩手県建築住宅センター他



〈説明会の様子〉



〈相談会の様子〉

住宅再建をお考えの方で、

「何処に相談したらいいか良く分からないんだけど・・・？」

「いろいろ支援があるみたいだけれど、誰か説明して欲しい！」

という方、住宅の専門家に個別に相談できる機会です。

事前の申し込みは不要で、参加料、相談費用も無料ですので、皆様お誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

平成27年度の開催計画

平成26年度は宮古市以南の6市町において、合計88回開催し688組1,040人の方から相談をいただきました。

平成27年度も4月から毎月相談会を開催しており、10月から3月までの開催予定は以下の通りです。

開催市町村	開催日	時 間	会 場
宮 古 市	10月31日	土 10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
	11月23日	祝 10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
		14:00~16:00	
	12月12日	土 10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
	1月17日	日 10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
		14:00~16:00	愛宕公園仮設住宅集会所
	2月20日	土 10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
3月13日	日 10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール	
	14:00~16:00	日の出町仮設住宅集会所	
大 船 渡 市	10月17日	土 10:00~12:30	大船渡地区合同庁舎 4階大会議室
		14:00~16:00	宮田仮設住宅集会所
	12月6日	日 10:00~12:30	大船渡地区合同庁舎 4階大会議室
		14:00~16:00	市内仮設住宅集会所
2月6日	土 10:00~16:00	リアスホール	
2月7日	日	(いわて復興住宅祭会場)	
陸 前 高 田 市	10月18日	日 10:00~12:30	陸前高田市コミュニティホール集会室
		13:30~16:00	ふるさとセンター
	12月5日	土 10:00~12:30	陸前高田市コミュニティホール中会議室
		13:30~16:00	市内仮設住宅集会所
	2月21日	日 10:00~12:30	陸前高田市コミュニティホール
13:30~16:00		市内仮設住宅集会所	
釜 石 市	11月14日	土 10:00~12:30	イオンタウン釜石
		13:30~16:00	
	11月15日	日 10:00~12:30	釜石地区合同庁舎 4階大会議室
		14:00~16:00	市内仮設住宅集会所
	1月23日	土 10:00~12:30	釜石地区合同庁舎 4階大会議室
		14:00~16:00	市内仮設住宅集会所
	1月24日	日 10:00~12:30	イオンタウン釜石
13:30~16:00			
3月26日	土 10:00~12:30	釜石地区合同庁舎 4階大会議室	
	14:00~16:00	市内仮設住宅集会所	
3月27日	日 10:00~12:30	釜石地区合同庁舎 4階大会議室	
	14:00~16:00	市内仮設住宅集会所	
大 槌 町	10月4日	日 10:00~12:30	大槌町仮庁舎 3階大会議室、中会議室
		14:00~16:00	大槌第5仮設団地集会所
	12月13日	日 10:00~12:30	大槌町仮庁舎 3階大会議室、中会議室
		14:00~16:00	小槌第8仮設団地集会所
	2月14日	日 10:00~12:30	大槌町仮庁舎 3階大会議室、中会議室
14:00~16:00		吉里吉里第2仮設団地集会所	
山 田 町	11月7日	土 10:00~12:30	山田町中央コミュニティセンター 2階会議室
		14:00~16:00	猿神農業担い手センター仮設団地集会所
	1月16日	土 10:00~12:30	山田町中央コミュニティセンター 2階会議室
		14:00~16:00	浦の浜仮設団地集会所
	2月27日	土 10:00~12:30	山田町中央コミュニティセンター 2階会議室
14:00~16:00		浜川目仮設団地集会所	

奥州市道谷子沢南前川山線が開通しました！

県南広域振興局土木部

県が平成5年から県代行事業として整備を進めてきた奥州市・一関市に跨る市道^{しとまえつきの}尿前槻^{きだいら}木平線（現市道名：奥州市道^{やごさわみなみまえかわやま}谷子沢南前川山線、一関市道^{おにかべあけどおし}鬼頭明通線）が平成27年9月26日（土）に開通しました！

当該市道は、一般国道397号沿いの日本有数のロックフィルダムで知られる胆沢ダムを有する奥州湖近傍のつぶ沼キャンプ場と一般国道342号の平成20年岩手宮城内陸地震の震災遺構として残る「^{まつるべ}祭時大橋」付近を約15km（時間にして約15分）で結んでいます。

両地域の時間短縮もさることながら、一関市・秋田県東成瀬村に跨る栗駒山、奥州市焼石岳も結ぶこと、奥州湖畔も通過することから、紅葉シーズンを含め観光ルートとして地域の発展に寄与するものと期待されています。

近くを通行の際には、是非お立ち寄りいただくとともに、今回の開通に合わせ「栗駒焼石広域みち（道路）写真コンテスト」も開催しておりますので、こちらの方にも御応募お願いいたします。



岩手県奥州市、一関市、秋田県東成瀬村地域の道路を通して、地域の魅力を再発見し、広く知っていただくことを目的に『栗駒焼石広域 みち(道路)写真コンテスト』を開催します。

栗駒焼石広域 みち(道路) 写真 コンテスト



募集期間

平成27年

9/15 ▶ 12/20

※当日消印有効

テーマ

「栗駒焼石広域 みち(道路)と風景」
(道路と自然や景観)

※作品タイトルは自由
※ただし、みち(道路)と一体となった風景を基本とします。

入賞

最優秀賞：賞金3万円(1名)
優秀賞：賞金1万円(2名)

◆ 応募方法 ◆

応募上の注意をよくお読みになり、出品申込書と共に下記へ郵送もしくは持参してください。

〈応募・問い合わせ先〉

岩手県南広域振興局土木部

「栗駒焼石広域 みち(道路)写真コンテスト」係
〒023-0053 岩手県奥州市水沢区大手町1-2
電話 0197-22-2881

対象ルート



この市道は平成27年9月下旬から平成27年11月上旬まで通行可能予定です。

※写真撮影範囲の対象ルートは、当地図のエリアに厳密に限定するものではありません。

主催：岩手県南広域振興局

共催：岩手県奥州市、岩手県一関市、秋田県東成瀬村

後援：(一社)奥州市観光物産協会、(一社)一関観光協会、東成瀬村観光協会

復興の現場見学会 in 高田松原

高田松原再生等に向けた県の取組を説明します！！

県では、東日本大震災津波により甚大な被害を受けた陸前高田市高田松原の再生や、防潮堤の復旧、砂浜の再生、復興祈念公園の整備など多くの事業を行っています。今回、これらの取組を広く市民、県民の皆さんに知っていただくため、以下のとおり現場見学会を開催します。高田松原地区において、県が実施する復旧・復興事業を対象とした見学会は今回が初めてです。

当日は、普段立ち入ることのできない高田松原の状況をご覧いただけるほか、それぞれの事業計画等もご説明します。ぜひご参加ください。

参加費無料
事前申込み必要

開催日時

- 平成27年10月24日(土)
- ①10時～12時(9時30分集合)
- ②14時～16時(13時30分集合)

①は定員に達したため、応募を締め切りました。

定員・参加費

各40名(先着順)・無料

申込み・問合せ先

岩手県沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター復興推進課
電話：0192-27-9911

①、②の希望する時間帯をお選びいただき、電話等によりお申込みください。

※申込み期限 10月23日(金)12時まで

集合・解散場所

陸前高田市コミュニティホール駐車場
(陸前高田市役所西側)

※集合場所から現地まではバスで移動します。

高田松原地区で県が実施する復旧・復興事業(説明予定)



主催：岩手県沿岸広域振興局

荒天時は中止します。お申し込みの際に、中止時のご連絡先をお聞きます。

平成27年度インターンシップ実習について

県土整備企画室

今年度、県土整備部には、岩手大学、秋田大学、八戸工業大学、八戸工業高等専門学校、大槌高等学校から実習の申込みがあり、大学生7名、高専生1名、高校生1名の計9名の実習を受入れました。

7月下旬から9月上旬にかけて、本庁各課、盛岡広域振興局土木部、県南広域振興局土木部花巻土木センター、沿岸広域振興局土木部、県北広域振興局土木部二戸土木センターにて実習を行いました。

実習は5日間（高校生のみ4日間）で行われ、いずれの実習場所でも、当該公所等の業務概要を座学で実習したほか、工事現場等での見学実習が行われ、参加した学生の皆さんからは「普段、見ることの出来ない現場を見学できて良い経験となった」や「公務員志望の動機付けとなった」等の感想が寄せられました。

以下では、このうち、本庁で実習に参加した2名の状況について紹介します。

【初日：8月24日】

実習生の2名（男性1名、女性1名）が、それぞれ緊張した面持ちで県土整備企画室へ集合しました。

午前は、オリエンテーション、県のしくみと仕事、県土整備行政の概要についての説明を受けたあと、部長室訪問、部内各室課見学、さらに、議会棟や県庁舎を見学しました。

県土整備部長からは「限られた期間ではあるが、県土整備行政の一端に触れてもらい、是非、今後の進路選択に活かして欲しい」との激励を受けました。

議会棟の見学では、本会議場や各種委員会室等を見学し、ニュース番組等のテレビを通じてしか見たことのない場所を体感し、感激していた様子でした。

午後は、建設技術振興課、砂防災害課に分かれ、それぞれの課が所管する業務の概要説明を受けました。

【実習生のコメント】

県の職員として働く人の人数はたいへん多く驚きました。職員に求められる能力というのもお聞きしたので、これらを意識して5日間のインターンシップに取り組みたいと思います。
（業務説明では）大学で学んでいることとの関係を実感でき、授業へのモチベーションになりました。

【2日目：8月25日】

道路環境課、都市計画課に分かれて実習しました。

道路環境課では、道の駅の管理、除雪、道路パトロール、道路施設の老朽化対策等について座学実習しました。

都市計画課では、都市計画の概要、開発許可、景観屋外広告、復興まちづくり事業等について座学実習しました。

【実習生のコメント】

都市計画の概要については、普段生活している地域周辺を例に説明して頂き、大変わかりやすかった。また、沿岸の復興についての内容が印象的だった。ここでは、今まで大学で学んできた都市計画とはまた違う、実際に行われている都市計画に大いに感銘を受けた。

【3日目：8月26日】

前日に引き続き、道路環境課、都市計画課に分かれて実習しました。

道路環境課では、盛岡停車場線の開運橋塗装工事や国道106号の築川地区擁壁補修工事現場を見学したほか、午後には盛岡広域振興局土木部管内の道路パトロール実習を行いました。

都市計画課では、大船渡市や陸前高田市にて実施している復興まちづくり関連の事業に関する現場視察実習を行いました。

【実習生のコメント】

事業の規模が想像していたよりもはるかに大きく、事前に説明を受け知っていたが実際見てその大きさに驚かされたと同時に、自分もこの事業に携わってみたいと感じた。今回の経験は今後の自分の進路を決める上での大きなポイントになった。

【4日目：8月27日】

2名一緒に花巻空港事務所、北上川上流流域下水道事務所での現場実習を行いました。

花巻空港事務所では、空港管理業務の説明を受けたあと、滑走路点検パトロールの実習を行いました。また、除雪車両や化学消防車も見学しました。

【実習生のコメント】

滑走路や除雪車・消防車など普段は見られないところを見せていただき感動しました。飛行機を安全に離着陸させるための様々な設備があり、大変ではあるけれどやりがいを感じる仕事だという事を聞いて、県の職員になれたら一度経験してみたいと思いました。



北上川上流流域下水道事務所では、下水道事業の概要についての説明のあと、下水処理施設を見学しました。

【実習生のコメント】

下水処理のフローに従って施設内を回った。大学の講義で一度学んだことではあるが、実際に見たことで下水処理の具体的なイメージをつかむことができた。



【最終日：8月28日】

前日に引き続き2名一緒に、綱取ダム管理事務所、築川ダム建設事務所の現場実習を行いました。

綱取ダム管理事務所では、ダム管理業務の説明を受けたあと、堤体内部の設備等を見学しました。

【実習生のコメント】

家の近所を流れる中津川にも関係が深く、身近ではあるはずですがあまり意識したことはありませんでした。今回見学をして施設設備や業務などを知ることができたので、これからは綱取ダムの恩恵を受けていることも実感して生活しようと思いました。



築川ダム建設事務所では、ダム建設事業の概要説明を受けたあと、転流工や取付道路の工事現場にて確認検査業務を実習しました。

【実習生のコメント】

工事現場も見せていただき、ほんの少しではありますが現場監督としての職員の仕事も体験させていただいたことで、実際の仕事のイメージを私の中で具体化することが出来ました。



全体を通して、実習生からは「就職を考える上で貴重な経験となった」こと、「素敵な方にたくさん会えた」等の感想をいただきました。

いわて花巻空港 FDA名古屋線 利用者40万人到達！！

～ 就航から約4年半、多くの方にご利用いただきました ～

空港課

平成27年9月17日（木）に（株）フジドリームエアラインズ（FDA）が運航する「いわて花巻空港⇄名古屋小牧」線の利用者が40万人を達成しました。これを記念して、いわて花巻空港において、記念セレモニーを開催しました。セレモニーでは、40万人目のお客様への記念品として飛行機の模型と花束の贈呈が行われました。

同路線は、東日本大震災津波により甚大な被害を受けた東北地方への復興支援の一環として、平成23年5月21日に就航しました。翌年の平成24年3月25日からは1日2往復に増便、さらに現在は1日3往復となり、日帰りビジネス利用などでの利便性が向上しています。

県では、今後も、更なる利用促進に向けて取り組んでいきます。

記念品贈呈の様子



<これまでの推移>

10万人達成	20万人達成	30万人達成
H25.2.5	H26.1.4	H26.11.10

【復興関連道路】 宮古市道北部環状線の現場見学会を開催！ ～平成 28 年度の開通を目指して～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が「復興関連道路」として宮古市山口～佐原間（計画延長 L=2.3km）で整備を進めている宮古市道北部環状線について、宮古市立鍬ヶ崎小学校の復興教育及びトンネル・橋梁の名称決定のために、9月25日（金）に現場見学会を開催しました。

現場見学会には、宮古市立鍬ヶ崎小学校の5年生から6年生の児童約70名が参加し、完成したトンネル内部を徒歩により見学したほかに、山口側の高台から市街地を一望しました。

トンネル入口で概要説明



トンネル内を歩きました！



山口側の市街地が一望できます！



トンネル入口で集合写真

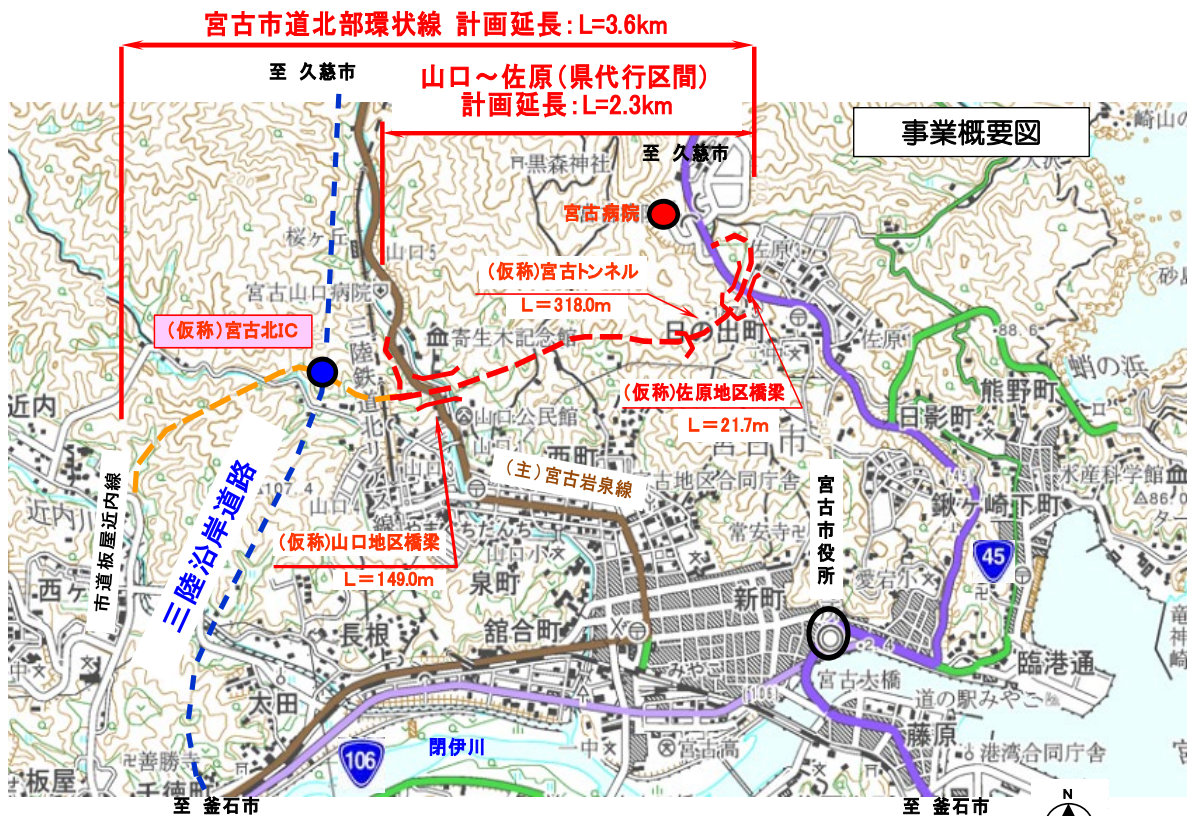


児童の皆さんからは、「トンネルはどんな機械で掘るのですか？」「現在は土砂でこぼこしていますが、この道路は平らになるのですか？」「とても高いところに道路があり、現在は安全コーンが置いていますが、ここには柵などが設置される予定はあるのですか？」などの多数の質問をいただき、道路整備事業への関心の高さがうかがえました。

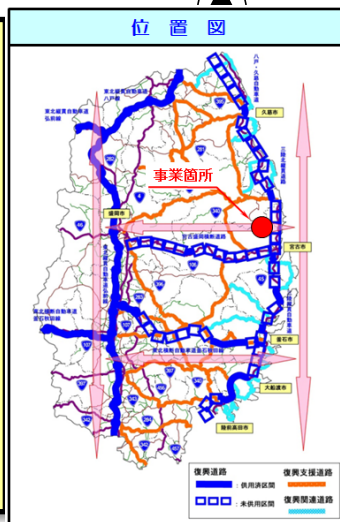
県では、今年を「本格復興邁進年」と位置付け、復興を強力に推し進めており、宮古市道北部環状線の山口～佐原間（L=2.3km）について、平成28年度の開通を目指して工事を進めています。

【宮古市道北部環状線の事業概要】

岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しており、宮古市道北部環状線は、三陸復興道路整備事業の「復興関連道路」に位置付け、重点的に整備を進めています。



- 宮古市街地の北側を通過し、国土交通省が施工する三陸沿岸道路宮古北 IC と一般国道 45 号を連絡する道路として、三陸復興道路整備事業における復興関連道路に位置付け。
- 国土交通省が施行する三陸沿岸道路等の復興道路と一体的に整備することにより、宮古市内の交通混雑を緩和し、岩手県立宮古病院へのアクセス向上等を推進。
- 山村振興法に基づく権限代行により、岩手県が山口～佐原を整備中。



いわて花巻空港 「スカイフェスタ2015」を開催しました

空港課

平成 27 年 9 月 26 日（土）、いわて花巻空港において「スカイフェスタ 2015」が開催されました。

当日は、小雨のばらつく生憎の天気でしたが、約 7,000 人もの方にお越しいただきました。普段は見るできない空港施設や飛行機を見学し、空港を身近に感じていただくことができました。

県では今後もいわて花巻空港の利用促進に努めていきます。

また、10 月 3 日（土）～12 日（月）には、「北海道スイーツセレクション in いわて花巻空港」が開催され、32 点の人気スイーツが花巻空港に大集合します！！

防災航空隊救助デモンストレーションの様子



化学消防自動車の展示



ヘリコプターの展示



空港ターミナルビルに集結した
県内のゆるキャラたち

